

# ペトロbrasと 日本の歴史的パートナーシップ

ペトロbrasは50年以上前より、企業として歴史に残るパートナーシップを日本と築き上げてきました。両者の協力関係は、日本が戦後の高度経済成長期にあった1960年代、当社が日本の造船所に掘削船「PETROBRAS II」の建造を発注したのをきっかけに幕を開けました。それ以来、日本の企業には、製油所、プラットフォーム、ガスパイプラインの建設、ならびにさまざまなプロジェクトへの融資など、わが社の多岐にわたる活動分野において積極的にご参加いただいています。

ペトロbrasは2000年に東京事務所を開設し、これを機に日本との関係をますます強化してきました。また、2005年には、日本市場へのブラジル産エタノール導入を目的とする合弁企業「日伯エタノール株式会社 (BJE)」設立に際し、出資を行いました。

2008年には、沖縄県所在の南西石油株式会社の株式を取得、西原製油所を保有する同社への投資は、アジアにおけるペトロbras最大の投資となりました。南西石油は、環境省が推進・支援している国内におけるE3ガソリン（レギュラーガソリンに3%のエタノールを混合した燃料）の本格普及事業にも取り組んでおり、現在、沖縄本島においてすでに30カ所以上のガソリンスタンドでE3の販売が行われている。



Jubarte油田FPSOプラットフォームP-34

ます。

ペトロbrasが日本で直接的・間接的に生み出した雇用数は1000を超えました。エタノールという新エネルギー源の導入と普及促進のみならず、その精製技術における専門知識を活かしながら、日本南部におけるエネルギーの安全かつ安定的な供給確保に貢献しています。

## ブラジルにおける投資

この50年の歴史の中で、両国の状況は大幅に変わっており、特にこの10年における変化は顕著となっています。現在のブラジルには、エネルギー分野の建設工事や新規プロジェクトが集中し、パートナー、協力、および融資を必要としています。

ペトロbrasのさまざまなプロジェクトや需要は、ブラジルにおける主要な投資の一部となっています。日本企業にとっては、ブラジル進出を図る絶好のチャンスであり、日本の最先端技術やイノベーション、労働スタイルが入ってくることは、ブラジルにとっても雇用創出や市場拡大のまたとないチャンスといえるでしょう。

ブラジルへの進出にはさまざまな方法があるかと思いますが、皆さまにブラジル進出を自信をもってお勧めする最大の理由は、想定投資額が年平均473億ドル、総額では2365億ドルに達する当社の「2012～16年ビジネスプラン」の存在です。

## ペトロbras2012～16年 ビジネスプラン

「ペトロbras2012～16年ビジネスプラン」における投資額の60%は、日量生産目標420万バレルへと大幅な生産拡大を掲げる探査・生産部門に充てられます。現在ペトロbras

は、1日当たり262.1万バレルの石油を生産しており、2016年には、日本の現在の石油消費量を上回る石油生産量を記録すると予想しています。

ブラジルでの石油・天然ガス探査・生産プロジェクトに焦点を当てた、ペトロbrasのプロジェクト・ポートフォリオ統合管理体制が本ビジネスプラン実施の基盤にあります。特に、各プロジェクトの期限遵守、物理的・財務的目標の整合性に焦点を当てながら、確かな財務指標のもとに事業を展開することを重視しています。

前述のとおり、ペトロbrasは4年以内に大幅にビジネスを拡大し、そのサプライチェーンにおいても数千の雇用を創出し、ブラジル国内各地の発展に貢献するだけでなく、ペトロbrasが事業を展開するさまざまな地域の発展を促し、ブラジルを経済的側面のみならず、さらなる発展へと導くこととなるでしょう。

そこで、皆さまにはぜひとも一度ブラジルを訪れ、ペトロbrasがどのような企業であるかを知っていただき、またブラジルが、そして弊社が実際にどのようなビジネスチャンスを提供できるのかを直接ご覧いただきたいと思っております。皆さまのご訪問をお待ち申し上げております。

## 国際協力銀行との関係強化

2012年10月12日、ペトロbrasは国際協力銀行（JBIC）と戦略的パートナーシップに関する業務協力協定を締結しました。これは2005年5月に両者間で締結した戦略的パートナーシップに関する業務協力協定から関係強化を図る分野を見直し、日本企業の事業参画の取り組みを改めて支援していくことを企図したものです。

また同日、JBICとペトロbrasは、融資総額10億ドルを限度とする貸付契約を締結しました。これは、ペトロbrasがリオデジャネイロ州で実施する、コンペルジェ製油所向けコジェネレーション（熱電併給）事業、およびカンボス沖で生産中の複数油田におけるフレアガス削減事業における温室効果ガス（GHG）排出削減に必要な長期資金を、JBICが地球環境保全業務（通称「GREEN」）の一環として融資するものです。



Marlim Sul油田プラットフォームP-56

最後に、長年にわたり協力関係にあるJBICおよびブラジル国立経済社会開発銀行（BNDES）の関係構築50周年を心よりお祝い申し上げますとともに、この関係が今後も数世紀にわたり継続され、両国間のビジネスの発展に継続的にお力添えいただけることを期待いたします。

また、これまでペトロbrasに厚い信頼を寄せていただき、常にご支援くださいましたことに深く感謝申し上げます。ありがとうございます。



**Maria das Graças Silva Foster**  
CEO  
PETROBRAS

